

会 議 録

八王子市立第六中学校

会 議 名	第 8 回 「青雲の学舎」づくり推進協議会
日 時	平成 2 0 年 1 月 1 9 日 (土) 9 時 0 0 分 ~ 1 1 時 4 0 分
場 所	第六中学校多目的室
出席者	委 員 協議会委員 町田委員、黒沢委員、澁澤委員、伊藤委員、遠藤委員、齊藤委員 (澁澤委員、伊藤委員 所用により途中退席)
	教育委員会 学事課野村課長、教育総務課山本主査
	承認者 協議会委員 6 名
	説明者 第六中学校 (齊藤校長、橋本副校長)
	事務局 第六中学校職員 (橋本副校長、久保寺主幹、岩崎主幹)
欠 席 者	岩木委員、石母田委員、小島委員
議 題	1 第三者評価結果の報告 (報告・検討事項) 2 平成 2 0 年度校務分掌組織について (検討事項) 3 学力の向上を支える支援の方策 (横軸の内容) (検討事項) 4 中学校給食の実施について (情報提供・意見交換) 5 その他
公開・非公開の別	公開・一部非公開・非公開
非公開理由	
傍聴人の数	1 名
配付資料名	・学校評価報告書 (資料 1) ・学校経営に関するコンサルティングペーパー (資料 2) ・平成 2 0 年度学校組織図 (資料 3 - 1) 平成 2 0 年度学校組織の見直しにあたって (資料 3 - 2) ・中学校給食について (追加資料)
会議の内容	<p>教育委員会あいさつ</p> <p>1 第三者評価結果の報告 (報告・検討事項)</p> <p>(1) 第三者評価の実践研究学校評価書 (国立教育政策研究所)</p> <p>(2) 学校経営に関するコンサルティングペーパー (監査法人トーマツ)</p> <p>第三者評価実施にあたっての経緯、実施内容とその評価結果について、齊藤委員より説明がありました。評価結果について項目ごとの補足説明の後、様々な意見、質疑応答が交わされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立教育政策研究所の評価書からは、本校の取り組みについて、概ね、高い評価を得た。 ・監査法人トーマツの評価書からは、管理職と教職員とのコミュニケーションの在り方について指摘を受けた。

<p>会議の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当推進協議会で討議されている「学力」とその検討内容について、教職員が共通の認識をもっているか。 ・学校経営、組織について ・特別支援教育コーディネーターの役割と現状について、誰が担当し、どのように取り組んでいるか。 <p>教育相談委員会と兼任し、隔週で、委員会を実施し、対応策を協議しているが、具体的な個別指導計画の作成までには至っていない。</p> <p>2 平成20年度校務分掌組織について（検討事項） 組織の見直しについての見解と予定している分掌組織について、齊藤委員の説明の後、いくつか意見が交わされました。黒沢委員より、将来的には、PTA組織を組み込むこと、人材育成を目的とした分掌を設置することなどの提案がありました。 来年度は、概ね、この組織で編成することとなりました。</p> <p>3 学力の向上を支える支援の方策（横軸の内容）（検討事項） 黒沢委員より「六中カレッジ」の一つとして、フランクリン・コピー・ジャパンという団体の『7つの習慣』プログラムを行ってはどうかとの提案がありました。1/29に具体的な内容を聞き、相談、実験校としての応募を考えているとのことでした。その方向で、検討することとなりました。</p> <p>4 中学校給食の実施について（情報提供・意見交換） 教育委員会学事課野村課長より、給食実施について、現状の説明と情報の提供がありました。また齊藤委員より、導入にあたって考えられる課題があげられた後、いくつか意見が交わされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題として <ul style="list-style-type: none"> 実際の弁当配膳にかかわる動線をどのようにするのか 配膳場所としての空き教室はあるのか 食育としての意義はきちんと対応できるのか 学校給食実施により、特色ある教育活動としての教育課程編成に支障は出ないのか 給食費徴収にかかる問題点は出てこないか <p>5 その他</p> <p>(1)生徒の活躍についての報告 数名の生徒が作文コンクール等で表彰されたこと、現時点での各検定の合格者数について、齊藤委員より報告がありました。</p> <p>(2)次回 第9回協議会 2月16日（土）9時より開会</p>
<p>会議録確認印</p>	<p>平成20年 1月23日（水） 確認者氏名 町田 貞修 印</p>